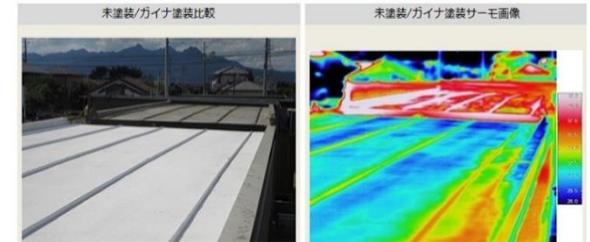


ベトナム国

遮熱性能を有する多機能セラミックコーティング材の現地展開にかかる基礎調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社日進産業
- 代表企業所在地：東京都板橋区
- サイト：ベトナム国・ハノイ及びホーチミン



ベトナム国の開発課題

調査国では、安定した経済発展を遂げている一方、エネルギー需要は年率約10%水準で伸びている。これに伴いCO2の排出量も2008年からの5年間で約30%増加しており、このままの増加水準が続く限り、同国が掲げている2030年までの温室効果ガスの8%削減目標(2010年基準)は達成困難である。さらに同国は気候変動の影響を大きく受けやすく、1メートルの海面上昇で10%のGDPが失われると予測される。

中小企業の製品・技術

提案企業が開発した断熱材「ガイナ」は遠赤外線放射により外部からの熱侵入を抑制する。液体状の特殊セラミックを建物の外壁・内装にコーティングすることにより、外部からの熱エネルギーの侵入を抑制することから、建物内の温度上昇を抑える。工場・倉庫等の空気環境を改善すると共に冷房空調の負荷を低減し、延いてはCO2削減に貢献できる技術である。

日本の中小企業の事業戦略

提案企業は商品の製造をし、日本国内商社(ジャミール商事)を通じて商品の輸出をする。現地での営業・販売は現地パートナー企業が行う。市場は工業／商業／住宅セクターであり、とりわけ、エネルギー消費量が多い日系の製造業(約1,200社)の工場・倉庫を最初のターゲットとして重点的に営業活動を行う。本調査の結果を用い、現地日系企業への納入実績を積み上げたのち、工業セクターの財閥系・地場企業および商業・住宅セクターに対してもアプローチをおこない、販売可能性を探っていく。

中小企業の事業展開を通じて期待される開発効果

ガイナは、工場建屋、倉庫、オフィスビル等の外・内壁に塗装することによって、室内温度の上昇を抑え、エアコンによる電力消費量の削減を図るものである。本製品における夏季の電力使用量の削減効果は約26.7%(首都大学との共同研究より)であり、年間を通じて高温多湿の環境にあるベトナムにおいては同等またはそれ以上電力使用量の削減効果が見込まれ、CO2温暖化ガスの発生を抑制する効果が期待される。